



地形・地質

種子島は鹿児島県大隅半島から33kmほど南下した地点にあります。南北方向に57km、東西方向が15kmで細長い地形をし、全島が更新世の段丘堆積物によって覆われています。

地下水

井戸は主として宮瀬川や浜川などの小河川沿いの沖積面上から掘削され、その大半は沖積層からの取水とされます。深井戸の一部は莖永層群の大崎層（砂岩）から取水しているものがあります。

種子島の地質層序

時代	地層名	地層の厚さ (m)	岩相	
現世	沖積層		旧砂丘砂層, 河川堆積物, 現砂丘 —— (不整合) ——	
更新世	ローム層	最大 4.5	火山灰, 軽石 —— (軽微な不整合) ——	
	竹之川層	10	赤褐色～茶褐色粘土砂, 一部に礫を伴う。 —— (?) ——	
	長谷層	5	砂岩の垂角礫 (巨礫～細礫) を主とする。 —— (不整合) ——	
鮮新世	増田層	20 } 100	淡褐色～茶褐色, 細粒～中粒砂。 (やや泥質), 偽層理の発達した礫質部, 化石の点在する泥質部を一部に伴う。 —— (不整合) ——	
中新世	玄武岩質貫入岩体	7 } 100	黒～暗緑色, 硬質ちみつ, 角閃石を含む。	
	茎永層群	大崎層	700	赤褐色～黄褐色, 中粒～粗粒砂岩。小礫よりなる礫岩と砂岩の薄層をしばしば挟む。
		河内層	320	青灰色泥岩。最下部, 最上部付近に, しばしば砂岩薄層を挟む。
		田代層	420	礫岩 (円磨された巨礫～中礫)。 上部に砂岩層を挟む。 —— (不整合) ——
三古紀 (?) 第	熊毛層群	?	暗灰色頁岩, 塊状灰色砂岩およびそれらの互層	

出典 日本の地下水 (農業用地下水研究グループ, 1986) (一部加筆)

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwddb.html> (日本地下水学会)